



3学期スタート! 2020東京オリンピック・パラリンピック開催の記念Year

8日(水)に3学期の始業式が行われました。北方小学校も新年のスタートを切りました。始業式では、北方っ子に2つの約束をしました。一つ目は、「自分なりの目標を立て、チャレンジを続け、自分だけの金メダルを目指すこと」二つ目は、「学校のきまりを絶対に守ること」です。新しい年が310名の子ども達にとって、素晴らしい年になるように気持ちを込めて話をしました。

特に6年生は、卒業まで残り2ヶ月余りです。一人一人が有終の美を飾れるように全教職員で応援したいと思います。保護者の皆様や地域の皆様におかれましても、引き続き、本校の教育活動にご支援、ご理解の程、宜しくお願ひいたします。

北九州市学力状況調査&CRT 学力検査! 実施

10日(金)に北九州市学力状況調査が実施されました。本校でも5年生が国語科、算数科、理科の3教科、4年生が国語科、算数科の2教科にチャレンジしました。また、1年生から3年生までは、CRT 学力検査を実施しました。どの学年も日頃の学習の成果が発揮できるように真剣に集中して取り組んでいました。難しい問題もありましたが、あきらめずに最後まで頑張っていました。

学力テストの目的は、結果を分析して課題を見出し指導の改善や個別の指導に役立て、子ども達の確かな学力を向上させることです。学校でも結果の分析をもとに個別の指導方法を検討して、北方っ子一人一人の学力向上に繋がりたいと考えています。



学校給食週間の取組

今年も学校給食の意義や役割等についての理解と関心を高めるために1月24日から30日までの期間を学校給食週間として、給食委員会を中心に様々な取組を行います。給食時間の放送時間を利用して、給食ができるまでのビデオ放送を見たり、食に関するクイズをしたりする予定です。楽しみながら食育に関する学習が深まることを期待しています。



防災教育について



15日(水)は、防災教育の一環で地震による津波への備えとして、DVDの視聴を行います。本校では、火災、風水害対応、地震対応など、年3回の訓練を通して、「自分の命は自分で守る」意識の定着を目指しています。お家の方でも、これを機会に災害時連絡カードを家族で確認するなど、お願ひいたします。



ことばを大切につかおう!

うれしい言葉は 「ありがとう」
すっきりする言葉は 「ごめんなさい」
悲しい言葉は 「さようなら」
やさしい言葉は 「だいじょうぶ」
やる気が出る言葉は 「がんばって」
こんな言葉で気持ちが変わる
言葉の力はすごいんだな



左の詩は、ある小学校の5年生が書いたものです。お家の方でもお子さんと一緒にこの詩を読んでいただき、言葉の大切さについて話題にさせていただけたらと思います。

～昔、言葉は「ことだま」と言っていました。「ことだま」の「だま」は「たましい」のことです。すなわち、言葉には言った人の思い(たましい)が込められるということです。

良いことを言えば、相手の心に気持ちよく入り込み、相手を喜ばせます。しかし、反対にいやな言葉は、相手の心の中にトゲとなって入り込み、相手に嫌な思いをさせたり、傷つけたり、悲しませたりします。また、一度自分から出て行った言葉は、二度と戻ってきません。だから言葉を、慎重にそして大切に使わなければならないのです。～「なごやかタイム」第一集より抜粋

北方小学校をもっともっと楽しい学校にするためにみんなで言葉を大切に使うことを期待しています。